

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科：数学 科目：数学Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～C組

教科担当者：（A組：會田・岸本）（B組：會田・岸本）（C組：會田・岸本）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（数研出版『新 高校の数学Ⅰ』（数Ⅰ716））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算 【知識及び技能】 数を実数まで拡張する意義を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりするとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとすること。 確認テスト	①計算の基本 ②単項式と多項式 ③単項式の加法と減法 ・教材＝教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 数を実数まで拡張する意義を理解している。 【思考・判断・表現】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしているとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	13
	第1章 数と式 第1節 数と式の計算 【知識及び技能】 二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりするとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとすること。 定期考査	①多項式の乗法 ②展開の公式 ③因数分解 ・教材＝教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 二次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしているとともに、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
				○	○		1

